平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	人と文化を育むまちの形成
基本方針	生涯を通じて学びあうまち
基本施策名	生涯学習の推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部 穂高地域課	課長	髙山 一郎
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

1111	市民すべてが、生きがいを持って暮らせる社会を実現するために、生涯学習の機会拡大と充実が求められている。また、学んだ成果を地域に 活かす活動の支援も求められ、多様化するニーズに対応した生涯学習の機会提供が必要となっている。 誰もが、健康の保持・増進に関心が高まり、生涯にわたってスポーツに親しむことは、有益であり、この環境整備が必要とされる。市民ニー ズに応じたスポーツプログラムの充実や環境づくりを進めることが求められている。
左平刀町 (日代中できま白州)	市民誰もが多様な学習機会を選択できるとともに、快適な学習環境が確保され、その学習成果が市民の心身の健康づくりに寄与し、家庭や地域に還元されることを目指します。 また、図書館は、市民の多様なニーズに応え、質の高い情報を提供できる「情報センター」を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
生涯学習講座数(回/年)	口	136	150	105	97	129	86	停滞	生涯学習課
生涯学習受講者数(人/年)	人	19, 971	21,000	21, 547	30, 558	21, 391	101.8	順調	生涯学習課
図書館の年間利用者数 (人/年)	人	391, 140	440, 000	379, 225	414, 307	419, 914	95. 2	順調	図書館交流課

施策指標の進捗状況と分析

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

ë	5	基本施	東を構成する事務事	巣の評価											(単	・仏:円)
N	0 :	コード	事務事業名	所管課	事業費								重点化			
1	١.				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	里杰旧
	1 (0110730	穂高公民館施設管理 運営事業	地域担当(穂高)		19, 316, 218	20, 101, 368			39, 417, 586	施設の管理 運営	継続	期限なし	現状のまま 事業を実施 することが 適当	1	
4	2 (0110735	穂高公民館事業	地域担当(穂高)		3, 888, 898	3, 941, 664	4, 200, 000	4, 200, 000	16, 230, 562	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま 事業を実施 することが 適当	1.1	
	ſ		合計			23, 205, 116	24, 043, 032	4, 200, 000	4, 200, 000	55, 648, 148						

事務事業量とコスト	市民誰もが主体となって、生涯学習の機会を享受し、地域に活かす活動の支援や、生涯にわたってスポーツに親しむことは、健康の保持のほか、生涯を通じて学び合うまちづくりに有益である。
(費用対効果)の分析	公民館活動は、生活を豊かにし、低コストで柔軟な運営が行われるものである。
重点化事務事業の考え方	積極的な情報発信により、誰もが生涯学習やスポーツに気軽に容易に参加できる環境づくりを推進する。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価	ライフステージに応じた生涯学習の形態が多様化することから、個々に対応できるきめ細やかな情報発信と支援が求められる。地域
(次年度へ向けた課題の抽出含)	(コミュニティー)と連携した生涯学習プログラムづくりが重要となる。

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基	本目標	協働によるまちづくりの推進
基	本方針	協働で築かれるまち
基	本施策名	協働のまちづくりの推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部 穂高地域課	課長	髙山 一郎
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

	市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、穂高地域区長会を年4回開催し、地域が抱える課題や、価値観の多様化といった社会の分化に伴う問題を提起していただき、情報共有を図っている。さらに市の専門部会においては、課題を掘り下げた議論を行う。	
基本方針 (目指すべき方向性)	まちづくりにすべての市民が関わり、あらゆる対等な主体の明確な役割分担と相互の連携・協力による具体的な活動を活発化することにより、住みよい地域づくりを目指します。	

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
市民活動センター登録団体数	団体	38	150	57	59	73	48. 7	停滞	地域づくり課

施策指標の進捗状況と分析

3 基本施策を構成する事務事業の評価

())(())	\
(単位	ш١

	E-1/MIN C 11/M 7 0 4 W 4 X 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1														
N	コード	事務事業名		事業費						事務事業の状況					重点化
	Д. Г	事份事 未有	刀目味	H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	里杰汇
1	0102090	穂高地域づくり事業	地域担当(穂高)		578, 934	962, 277	585, 000	585, 000	2, 711, 211	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま 事業を実施 することが 適当	1.2	
	슴計			578, 934	962, 277	585, 000	585, 000	2, 711, 211							

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	自治基本条例の基に、市民及び市の協働によるまちづくりを推進することは、それぞれの役割などを尊重し、地域の課題解決に向けた分担が明確となり、地域活性化の促進とコスト削減につなげられる。
重点化事務事業の考え方	市民、市議会、市それぞれの役割を明らかに、協働によるまちづくりを推進する。
縮減・廃止事務事業の考え方	
	人口減少、少子高齢化の進行や核家族化などの社会情勢の変化により、ライフスタイルも変化し地域課題も複雑かつ多様化してきていることから、地域におけるつながりが重要となる。この様な中で、地域が抱える問題や課題を情報共有することで、市と地域が一体となり問題・課題解決に向けた議論を継続することが重要となる。

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	経営的視点にたった行財政運営の推進
基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
基本施策名	健全な自治体経営の推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部 穂高地域課	課長	髙山 一郎
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	平成28年7月の新穂高支所完成により、穂高地域の福祉と行政の拠点として事務の効率化が図れ、市民が安心して来庁いただける庁舎となった。いつまでも市民に愛され親しまれる庁舎であるよう、きめ細やかな管理による経費節減と、施設の長寿化を図っていく。
基本方針 (目指すべき方向性)	計画行政に徹するとともに、組織機構の見直しや行政改革により、予算編成・予算執行の適正化を図り、持続可能な健全財政の運営を目指します。 また、公平な課税、的確な課税客体の把握とともに、広報活動をより一層充実させることにより、収納率(収入率)を向上します。
	さらに、広域的な地域づくりを進めるため、より効率的な広域連携を進めていきます。

2 施策指標

指標		(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
税収納率(現年分)		98. 46	98. 5	99. 1	99. 2	99. 3	100.6	順調	収納課
実質公債費比率 (3年平均)		12. 9	12	10. 5	9. 6	9. 4	100	順調	財政課

施策指標の進捗状況と分析

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

		22-1-WEAK C 111/W 7 C 2-10/3 2 A 3 A 3 A 3 A 3 A 3 A 3 A 3 A 3 A 3														
No	7_	コード	-ド 事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
ING	١.	a - [学 伤学未行	別自味	H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	里点汇
1	(0102085	穂高支所等施設管理 運営事業	地域担当(穂高)		17, 412, 655	18, 244, 427			35, 657, 082	施設の管理 運営	継続	期限なし	現状のまま 事業を実施 することが 適当	12	
	合計			17, 412, 655	18, 244, 427			35, 657, 082								

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	バリアフリー化による安全が確保でき、建物がコンパクトになったことにより事務事業の効率と維持管理費並びにランニングコストの軽減が図られた。
重点化事務事業の考え方	市民が安全で安心して利用いただけるサービスを提供する。事務の効率化が図れることから、住民福祉の向上につなげられる。
縮減・廃止事務事業の考え方	支所用借地の解消に向けた協議を継続する。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	きめ細やかな庁舎管理に努め、施設の長寿化を図る。来庁者のサービス向上につなげていく。